

## 投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 市川和幸 (一宮大祐)	内線	4459 (4465)
------	-----	---------------------	---------------------	----	----------------

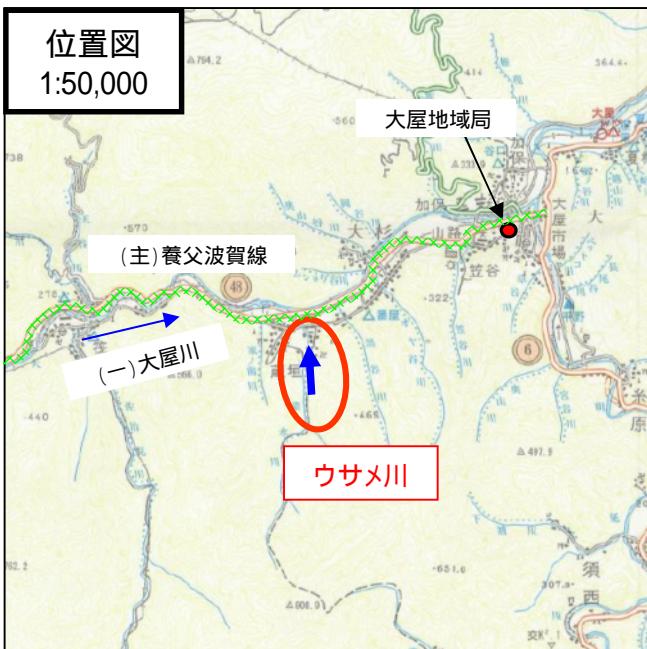
事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	1.5億円
		通常砂防事業 ウサメ川	養父市 大屋町蔵垣	内用地補償費	0.1億円
所在地				着手予定期 年度	完成予定期 年度
養父市大屋町蔵垣				H25	H27
事業目的	事業内容				
土石流対策  当溪流は土石流危険渓流に該当し、渓岸の浸食が進むなど、土石流発生の危険性が高まっている。このため、えん堤の設置により、土砂災害から人家・市道等を保全し、地域の安全・安心な暮らしを守る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>砂防えん堤工 1基 (H = 10.0m, L = 40.0m)</li> <li>[負担割合 国:1/2、県:1/2]</li> </ul>				
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 (流域の状況)	<ul style="list-style-type: none"> <li>(一)円山川水系大屋川に流入する土石流危険渓流</li> <li>・近年の降雨により渓岸の浸食が進み、風倒木も多数発生しているなど、流域の荒廃が進行している。</li> <li>・渓床には土砂が厚く堆積しており、多量の土砂が流出する可能性があり、土砂災害の危険性が高い。</li> </ul>				
(保全対象等の状況)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土石流が発生した場合の氾濫面積は約5ha(長さ400m、最大幅300m程度)に及ぶ。</li> <li>・人家44戸、蔵垣会館(避難所)、市道</li> </ul>				
(2)有効性・効率性 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・警戒避難体制の整備に加え、ハード整備による土砂災害対策の充実を図り、地域の安全・安心な暮らしの確保に大きな効果がある。</li> </ul>				
(事業執行環境)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元は事業に協力的であり、工事用道路についても理解を得られていることから、円滑な事業執行が可能である。</li> </ul>				
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業に伴う地形の改変を最小限にとどめ、掘削法面の緑化を図るなど環境保全に努める。</li> </ul>				
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保全人家が多く、公民館(避難所)等の保全を図る必要があることから、早期着手に対する地元要望が強い。</li> </ul> <p>以上より、H25年度に事業着手し早急な対策が必要である。</p>				

うさめがわ  
ウサメ川  
[養父市]



位置図

1:50,000



計画概略図  
縮尺 1:6,000

